



## 2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2026年2月10日

上場会社名 オカモト株式会社

上場取引所

東

コード番号 5122 URL <https://www.okamoto-inc.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員

(氏名) 岡本 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 細谷 久雄

TEL 03-3817-4121

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

: 無

決算説明会開催の有無 : 無

: 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	80,679	2.9	4,302	39.5	6,223	26.3	3,626	28.6
2025年3月期第3四半期	83,046	4.6	7,112	11.3	8,443	11.0	5,079	27.5

(注)包括利益 2026年3月期第3四半期 12,322百万円 (127.8%) 2025年3月期第3四半期 5,408百万円 (-54.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益	
		円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	210.99		
2025年3月期第3四半期	291.41		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	158,540	103,486	65.2
2025年3月期	146,134	94,464	64.6

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 103,379百万円 2025年3月期 94,356百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期		60.00		60.00	120.00
2026年3月期(予想)		60.00		60.00	120.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	0.1	5,700	34.5	7,000 28.3 4,300 35.6 246.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名)

、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	17,699,367 株	2025年3月期	17,899,367 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	607,111 株	2025年3月期	563,250 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	17,188,968 株	2025年3月期3Q	17,431,393 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、P3、「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費では雇用・所得環境の改善が下支えとなり緩やかな持ち直しは続いておりますが、物価高への懸念は根強く景気を下押しする要因となっています。企業部門では景況感は概ね堅調で投資意欲も底堅く推移いたしましたが、物価上昇を背景とした消費者マインドの悪化、人手不足による供給制約の拡大、及び金融資本市場の変動の影響等には引き続き注視すべき状況にあります。

国際情勢では、期初より懸念されていた米国通商政策の不確実性は、わが国に対しては足元ではいくぶん落ち着きを見せているものの、依然不確実性は残っております。加えて中国経済の低迷や日中関係の不安定化、地政学的な緊張の高まり等、先行きに対する不透明感は続いております。

このような経営環境のなか当社グループは、各セクションで事業戦略の着実な遂行を進め競争力の強化に努めました。営業部門では取引先需要の影響を最小限に留めるべく、販売価格の適正化や新規取引先の開拓を進めるとともに、市場動向を踏まえた柔軟な販売戦略の展開に努めました。生産・管理部門では、引き続き今年度から導入した新基幹システムを用いて、原材料調達、生産管理及び在庫管理の更なる効率化を図るとともに、人手不足に対応した工場自動化への投資を進めております。また、11月には岡山県井原市に岡山新工場が竣工し、生産・物流体制の一層の強化を図っております。

結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は80,679百万円（前年同期比2.9%減）となりました。営業利益は4,302百万円（前年同期比39.5%減）、経常利益は6,223百万円（前年同期比26.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,626百万円（前年同期比28.6%減）となりました。前年同期比の利益減少の要因は、主に、為替の円高により1ドル当たり約4円分の影響、原材料で中国のレアメタル規制に起因する難燃剤（アンチモン）価格高騰継続の影響、及び中国経済の停滞によるものです。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ① 産業用製品

一般用フィルムは、市況低迷傾向も他社品の取り込みが進み売上増となりました。工業用フィルムは、半導体関係が堅調に推移し売上増となりました。建材用フィルムは、床材、鋼板用を中心に好調に推移し売上増となりました。多層フィルムは、国内食品向けの採用増により売上増となりました。壁紙は、住宅着工戸数の減少の影響で売上減となりました。農業用フィルムは、価格改定の効果と高付加価値品等の拡販により売上増となりました。自動車内装材は、中国では自動車販売価格見直しがあり売上増でしたが、需要先モデルチェンジ延期の影響による北米子会社の在庫調整及び為替の影響があり、全体で売上減となりました。フレキシブルコンテナは、石油化学向けの需要が減少しましたが積極的に受注を行い売上増となりました。粘着テープは、包装用の足元の需要が堅調で売上前年並みとなりました。工業テープは、電材用・車両用の需要が低迷し、売上減となりました。食品衛生用品のうち、ラップは新規採用、外食需要復調及び小巻ラップ拡販の効果で売上増となりました。食品用手袋は、競合他社とのシェア獲得競争が激化し売上減となりました。食品吸水・脱水シートであるピチット製品は、外食向けが堅調でしたが、食品加工向けの足元の漁獲高が不安定であった影響により、売上前年並みとなりました。研磨布紙等は、研磨布紙が横ばいで推移した一方OA部材機材が減少し、売上減となりました。

以上により、当セグメントの売上高は56,296百万円（前年同期比0.5%減）、セグメント損失は162百万円（前年は1,233百万円の利益）となりました。

#### ② 生活用品

コンドームは、国内消費者需要は堅調でしたがインバウンド需要の減少が見られ、また、海外向けが主に中国景気低迷の影響により減少し、売上減となりました。浣腸は、主要卸店からの受注増により売上増となりました。除湿剤は、梅雨・秋雨の降雨量減少及び秋口の低温の影響で売上減となりました。カイロは、新規導入企業の増加及び前年より気温が低くなつたことがあり、売上増となりました。手袋は、家庭用手袋は大手得意先取引減少のため売上減となりました。医療用手袋は価格競争が激化し売上減となりました。産業用手袋は半導体向けが減少し売上減となりました。メディカル製品のうち滅菌器は、市況が回復傾向にあり売上増となりました。ブーツは、価格改定により受注減少した得意先があり売上減となりました。シューズは、スニーカーの展開店舗増及びポップアップ販売実施の効果で売上増となりました。

以上により、当セグメントの売上高は24,197百万円（前年同期比8.0%減）、セグメント利益は5,872百万円（前年同期比20.0%減）となりました。

#### ③ その他

その他事業は、物流受託事業及び太陽光発電事業であります。当セグメントの売上高（セグメント間の内部売上高又は振替高を含む）は2,635百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は288百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は158,540百万円で、前連結会計年度末と比べ12,406百万円増加しております。

流動資産は83,032百万円で、前連結会計年度末と比べ6,316百万円の減少となりました。これは主として、現金及び預金が7,629百万円減少したことによるものです。

固定資産は75,508百万円で、前連結会計年度末と比べ18,722百万円の増加となりました。これは主として、有形固定資産2,831百万円、投資有価証券17,038百万円が増加したことによるものです。

### ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における総負債は55,054百万円で、前連結会計年度末と比べ3,384百万円増加しております。

流動負債は35,663百万円で、前連結会計年度末と比べ1,282百万円の減少となりました。これは主として、電子記録債務が1,029百万円増加し、支払手形及び買掛金1,029百万円、未払法人税等1,104百万円が減少したことによるものです。

固定負債は19,390百万円で、前連結会計年度末と比べ4,666百万円の増加となりました。これは主として、繰延税金負債が4,801百万円増加したことによるものです。

### ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は103,486百万円で、前連結会計年度末と比べ9,021百万円増加しております。これは主として、その他有価証券評価差額金が9,617百万円増加し、為替換算調整勘定が806百万円減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日の「2025年3月期決算短信」で公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	41,337	33,707
受取手形	1,167	678
売掛金	16,952	18,378
電子記録債権	8,270	9,514
商品及び製品	11,349	10,734
仕掛品	2,929	3,225
原材料及び貯蔵品	4,723	4,659
その他	2,674	2,189
貸倒引当金	△55	△55
流動資産合計	89,348	83,032
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	21,818	24,649
無形固定資産	2,569	2,337
<b>投資その他の資産</b>		
長期性預金	800	—
投資有価証券	30,979	48,018
繰延税金資産	180	133
その他	439	369
貸倒引当金	△1	—
投資その他の資産合計	32,397	48,521
<b>固定資産合計</b>	<b>56,785</b>	<b>75,508</b>
<b>資産合計</b>	<b>146,134</b>	<b>158,540</b>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	23,888	22,859
電子記録債務	3,288	4,318
短期借入金	2,324	2,220
未払法人税等	1,502	398
賞与引当金	1,059	574
その他	4,881	5,291
<b>流動負債合計</b>	<b>36,945</b>	<b>35,663</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,014	1,100
繰延税金負債	6,548	11,350
退職給付に係る負債	6,466	6,324
その他	695	615
<b>固定負債合計</b>	<b>14,724</b>	<b>19,390</b>
<b>負債合計</b>	<b>51,669</b>	<b>55,054</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>13,047</b>	<b>13,047</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>1,269</b>	<b>1,269</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>58,855</b>	<b>59,551</b>
<b>自己株式</b>	<b>△2,652</b>	<b>△3,022</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>70,519</b>	<b>70,845</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>17,254</b>	<b>26,871</b>
<b>繰延ヘッジ損益</b>	<b>2</b>	<b>△1</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>5,892</b>	<b>5,085</b>
<b>退職給付に係る調整累計額</b>	<b>688</b>	<b>578</b>
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>23,837</b>	<b>32,534</b>
<b>非支配株主持分</b>	<b>107</b>	<b>106</b>
<b>純資産合計</b>	<b>94,464</b>	<b>103,486</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>146,134</b>	<b>158,540</b>

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	83,046	80,679
売上原価	64,545	64,806
売上総利益	18,500	15,872
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	2,728	2,495
その他の販売費	2,338	2,453
給料及び賞与	2,935	2,919
賞与引当金繰入額	223	217
退職給付費用	98	88
その他の一般管理費	3,064	3,396
販売費及び一般管理費合計	11,388	11,570
営業利益	7,112	4,302
営業外収益		
受取利息	56	98
受取配当金	1,046	1,288
不動産賃貸料	491	489
為替差益	46	196
その他	141	136
営業外収益合計	1,783	2,208
営業外費用		
支払利息	23	54
不動産賃貸費用	108	96
持分法による投資損失	3	—
公開買付関連費用	148	—
その他	167	136
営業外費用合計	451	287
経常利益	8,443	6,223
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	353	77
特別利益合計	354	77
特別損失		
固定資産除却損	28	7
減損損失	656	974
投資有価証券売却損	189	—
災害による損失	—	70
その他	4	—
特別損失合計	879	1,052
税金等調整前四半期純利益	7,917	5,248
法人税、住民税及び事業税	2,406	1,138
法人税等調整額	404	481
法人税等合計	2,810	1,619
四半期純利益	5,107	3,629
非支配株主に帰属する四半期純利益	27	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,079	3,626

## 四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	5,107	3,629
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△45	9,617
繰延ヘッジ損益	5	△3
為替換算調整勘定	358	△810
退職給付に係る調整額	△17	△109
その他の包括利益合計	301	8,693
四半期包括利益	5,408	12,322
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,378	12,323
非支配株主に係る四半期包括利益	29	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年11月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式253,100株を取得いたしました。当該自己株式の取得に加え、単元未満株式339株を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,285百万円増加しております。

(自己株式の消却等)

当社は、2025年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2025年5月30日付で、自己株式200,000株の消却を実施しております。また、2025年6月26日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）及び当社の取締役を兼務しない執行役員、当社の管理職従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式10,387株の処分を行いました。当該自己株式の消却及び処分により、当第3四半期連結累計期間において自己株式915百万円、利益剰余金865百万円が減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,564	26,302	82,867	179	83,046	—	83,046
セグメント間の内部売上高 又は振替高	62	391	453	2,531	2,985	△2,985	—
計	56,626	26,694	83,320	2,711	86,032	△2,985	83,046
セグメント利益	1,233	7,343	8,577	347	8,925	△1,812	7,112

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,812百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,846百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

## (固定資産に係る重要な減損損失)

「産業用製品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失656百万円を計上しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用製品	生活用品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	56,296	24,197	80,493	185	80,679	—	80,679
セグメント間の内部売上高 又は振替高	67	401	468	2,450	2,918	△2,918	—
計	56,363	24,599	80,962	2,635	83,597	△2,918	80,679
セグメント利益又は損失 (△)	△162	5,872	5,710	288	5,998	△1,696	4,302

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グループ内の物流事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△1,696百万円には、セグメント間取引消去34百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,730百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「産業用製品」及び「生活用品」セグメントにおいて、固定資産の減損損失974百万円を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「産業用製品」966百万円、「生活用品」7百万円となっております。

## (キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,741百万円	2,153百万円